

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表

令和 5年3月31日

事業所名 ふぁみさぼここ帯山

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・視覚支援や文字で分かりやすく環境を設定している。 ・完全なバリアフリーでは無いため改善が必要な箇所も見られる。
業務 改善	④	業務改善を進めるための、P D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・朝礼、昼礼の際に各事業所職員間で情報共有、振り返り、改善等を行っている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		・ホームページにて公開されている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に安全運転講習会やメンタルヘルス研修等確保できている。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントシートやニーズ表に沿った計画を行っている。必要に応じて再アセスメントも行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・活動の目的やねらいを明確にし、職員間で周知できている。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			・
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・各区分に応じて、イベントや活動の本定期を明確に設定し、支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・ソーシャルスキルトレーニングや個別活動を個々に合わせた活動を偏らず行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼時に打ち合わせ、確認を行っている。集まった打ち合わせが出来ないときは、紙面を用いて共有するようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			・朝礼時に前日の振り返りや共有事項を確認し合っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援記録を残し、振り返ることで支援の改善に努めている。。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・期間を決めたモニタリングと、必要に応じたモニタリングを判断しながら行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・管理者及び児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・漏れがないよう、事前に時間割や行事等学校の引継ぎ等で把握している。 ・トラブルの際は、保護者や学校へ必要に応じて報告等行っている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○		・活動ではないが、公園や施設等で触れ合う機会はある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・引継ぎの際や連絡帳を通じて、保護者との連携および職員間での共通理解を図っている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・気になる行動などで判断し、保護者と面談を行い必要であれば心理士等の専門職員も同席し、客観的な助言を行うようにしている。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に丁寧な説明を行っている。また、問い合わせがあった際には随時対応をしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・事業所内相談や、家庭連携を行い傾聴、助言に努めている。
	③⑫	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・管理者へ報告後、謝罪およびその場の状況説明を丁寧に行っている。同じことが起きないように、対策も含め伝えるようにしている。再度管理者からも謝罪を行っている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月、活動内容とイベントがわかるように案内を配布している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			・流失、紛失がないよう注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者、利用者の背景を意識し寄り添った支援を心がけている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○			・年に1回、避難訓練及び防災センターへ出かけ専門的な知識や実践を行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止対策のマニュアルを作成、および職員研修を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・食物アレルギーがある利用者には、ご家庭でおやつを用意してもらうようにしている。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・報告書を通じて、法人全体で共有するよう努めている。